

宮古教育時報

発行者 沖縄県教職員組合
 宮古支部 情宣紙
 TEL 72-3328 FAX 73-2603
 ◇ 各分会の情報をお知らせ下さい。
 E-mail: otu-m@miyako-ma.jp

投げた・滑った・笑った

支部旗開きの第1部「ボウリング大会」、今年は30名余の参加者があり、各々のスタイルでボウリング&お喋りを楽しみました。昔取った杵柄でボウルを勇ましく勢いあまって投げてスッテンコロリンする者や威力はなくヒョロヒョロスローでストライクをたたき出す方もおり、各レーン毎に様々なドラマが生まれた大会でした。2ゲーム投げてのトータルスコアでの勝負の結果、栄えある上位入賞者は次の方達です。おめでとうございます！（拍手）



| | 女子の部(分会名) | 男子の部(分会名) |
|-----|------------|-----------|
| 第1位 | 翁長美沙(南小) | 川満玄雄(北中) |
| 第2位 | 砂川千賀(西辺中) | 西里太志(北中) |
| 第3位 | 垣花実智子(狩俣中) | 大城高志(砂川中) |



第2部は場所を教育会館に移して新春のつどいを盛大に行いました。本部からは鈴木書記長をお招きし、各分会の組合員はもちろんのこと各単組の代表者や宮古支部の大先輩方も出席して頂き、激励や連帯のメッセージを頂きました。大変ありがとうございました。

何かと暗いニュースが多い中、2011年度の新規採用者の小学校は倍増、中学校は約3倍の話題で参加していた臨採の方はとてもやる気に満ちて、お互い明るくなりました。今年も宮古支部は臨時教職員の方を少しでもサポートするために教員採用試験対策講座等を実施していきます。また、本部や各支部と連携して当局との様々な交渉を進めていきます。



退職教会長の上地照子先生

福里広太郎先生の激励のメッセージ

下地国雄先生&親泊宗二先生ユニットによる余興

2011年 2月8日(火)は宮古支部役員選挙投票日です!

2011年 3月4日(金)は沖教組本部役員選挙投票日です!

女性部主催：新春講演会

埼玉県熊谷市出身のシンガー・ソングライター森圭一郎さんが宮古支部女性部主催“新春ライブ&トーク”で自らの体験と歌を披露してくれました。

暴走族で毎晩バイクを乗り回していた16歳夏に事故は起こった。生死の境をさまよひ、目が覚めたのは事故から3日後。医者から今後歩けないと宣告された。暴走族から一転、床に落ちている物も拾えない車いす生活。周囲に当たり散らし、神経の通っていない足を自ら何度も殴り、自殺を試みるどん底を味わった。家に引きこもったが、見かねた母親に定時制高校への入学を勧められた。「しかたなく」という思いで再入学し、ギター部に所属。ライブで大声を出すと、たまっていたエネルギーが放出される快感があった。「誤解されるかもしれないけど、音楽と暴走族って一緒なんですよ」。(笑)「でも、暴走族は良くない！」キッパリと語りそして甘く響きわたる声で歌う。森さんのニューシングル“おぼだられん”に挿入されている“闇と光”は彼自身への応援歌のように聞こえた。そして私たちへの応援歌にも。

闇と光 詞：森圭一郎

母親の涙を見るたび 俺なんていなけりゃと思ってた 震える腕に深い傷をつけた
アスファルトに沈む夜 人生のクロスロード 背負った十字架心から憎んだ
消えてしまえ消えてしまえ 何もかも すべて 消えてなくなると 願っては
叫んだ 叫んだ 声にならない 心の声で叫んだ
小さい窓と四角い空 ビルの屋上と流れる雲 青ざめた毎日をすごした
ある日見つけた母の日記 小さな文字で頑張ると 涙がでた 涙があふれだした
生きてゆく 生きてゆく いきることを みつめ 向かいあっては 胸に刻み
誓った 誓った いつかは 笑ってやると誓った
かすかに芽生えた希望だけを胸に残し 夢を描き続けては
この時を乗り越えれば必ず明日はある ひかりさす
とにかく願って粘って思っ祈って 自分を 信じ続けて
見えてきた 見えてきた 自分だけの 四角い空は 果てしない空へと変り
叫んだ 叫んだ 声にだして 心の声を 声にだして 叫んだ
暗い闇だからこそ 明るい光が見えるんだ
手にしたものは なくしたものよりも 大きかった



今回の新春講演会に先立ち、伊良部小（伊良部中も参加）で～夢～をテーマにした講演会を、そして翌日には鏡原中（鏡原小・西辺中参加）でも講演会が開催され、去年の西城中（西城小・城辺中参加）に続き、多くの宮古の児童生徒が森さんの歌や話しを通して何か感じる事が出来たと思います。森さん自身も新たな目標として「宮古の全小中高で講演会ができれば良いな。」と熱く語っていました。

女性部のみなさんをはじめ講演会をサポート下さったみなさんに感謝です！

正規採用教員大幅アップへ！

沖教組教育新聞や県内紙の報道ですすでにご存じのことと思いますが、沖縄県2011年度の教員採用数を左ページにも記載したとおり、昨年の2～3倍に増やす方針が明かにされています。沖教組は、これまで教員定数改善について「定数内臨任の増加に反対し、本務採用枠の拡大」を求め、県教育長への要求、議会要請などを精力的に行ってきました。また、本県においては他府県と比較して正規採用教員の割合が以上に低いことを鋭く指摘し、その実態と改善を多方面に訴えてきました。このような継続的に取り組んできた運動の成果が実りつつあります。また、教員採用試験の一次免除制度の問題点を指摘しながら公正・公平に運用されるように求めてきましたが、今後、受験年齢制限の引き上げもしくは年齢制限撤廃についても視野に入れながらとりくみの強化を図っていきます。

第8回教員採用一次試験対策講座募集呼びかけ 講師：宮里祐光先生（沖縄教育カレッジ）

教員を目指して現場で頑張っている多くの方の受講を期待します。各分会組合員のみなさんは自校の臨時の方々への呼びかけ等よろしくお願ひします。期日等についての詳細は送付済みですが、疑問点等あれば支部までお問い合わせ下さい。申込み〆切2月1日（火） 臨時教員をサポートしましょう！